※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０８

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・観察したことや感じ取り考えたことから表現する「絵画」や目的や機能を考え表現する「デザイン」、「鑑賞」の分野について学習します。美術Ⅰで学習した美術表現の要素を基礎に、個々の感じ方や見方を見つめて構想を練り、表現の仕方を創意工夫して表現しましょう。
・様々な美術作品や身の回りにある美術を多様な視点から鑑賞し、造形的なよさや美しさを感じ取り、感じ方や見方を深めましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情をそだてる。
【学びに向かう力、人間性等】
感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・主題を表現するにあたってふさわしい技法や表現形式を選びその制作手順を理解し、表現に生かす。 ・美術作品の表現方法の歴史的な意義を知り、多様な視点から考える。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練っている。 ・価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	【絵画】【鑑賞】	オリエンテーション （表現とはなにか） ① 教科書を用いて、写真の発明と美術について学ぶ。 ② 『表現とはなにか』を考える。 ③ 『表現とはなにか』について考えたことを生かしながら、スケッチを描く。 ④ 生徒同士でスケッチを鑑賞する。	a：歴史の中での美術の役割と写真の発明について学び、これからの時代の美術の役割について考えようとしている。 b:作品から感じ取ったことや表現について考えたことを元に見方を深め、自身にとって表現はどういったものであるかを考えて表現している。 c:友達の作品を鑑賞し、様々な考え方や感想に触れ、表現の多様性を理解しようとしている。	ワークシート	作品	ワークシート 授業観察
	【デザイン】	名前のデザイン （授業ファイル制作） ① 自分の『名字』の文字を直線のみを用い、読めそうで読めないように形を変形させてデザインする。 ② 完成した文字を色鉛筆で着色する。 ③ 完成した『名字』の文字を使ってファイルの表紙をデザインする。	a:色鉛筆の特性を知り、混色やグラデーション、濃淡などの表現技法を理解しようとしている。 b:個性豊かに構想を練って文字をデザインし、色鉛筆の表現技法を生かしながら感性豊かに美しく仕上げようとしている。	ワークシート	作品	
	【絵画】	空想の世界を描くⅠ （下絵制作） ① 班で協力し合って、頭文字文を作る。 ② 頭文字文からイメージして下絵を描く。 ③ パネルを水張りする。	a:紙の伸展性と、それを生かしたパネルの水張りについて理解し、画材の準備を自分自身で行う体験を通して、自身の作品に対する思いを大切にしようとしている。 b:頭文字文から創造性豊かにイメージを広げて作品の主題を生成し、楽しい夢の世界を表現しようと試みている。 ｃ:生徒同士で協力し合いながら、美術のテーマにふさわしい、個性豊かな文章を積極的に作ろうとしている。	パネルの水張り	作品	頭文字文

※令和４年度以降入学生用

2学期	【絵画】	空想の世界を描くⅡ （着色） ① １学期に描いた下絵に、アクリルガッシュで着色する。 ② まず、各自でベースカラーを決めて全面に塗った後、上から好みの色彩で着色していく。 ③ 毎時間、考えたことや気づいたこと、学んだことを振り返りシートに記入する。	a:ベースカラーの上から塗り重ねて色に深みを出すという描き方を理解し、作品が塗り絵で終わらないよう表現している。 b:絵の具同士の混色やセロファン効果を生かした混色を行い、配色の美しさや深みのある色合い、細部まで描き込むなどで魅力ある作品作りを行おうとしている。 c:毎時間振り返りシートに記入することで、新しい表現方法の理解を深め、主体的に学ぼうとしている。	作品	作品	振り返りシート 授業観察
	【彫刻】【版画】	模様がつながるゴムはんこ ① 3㎝角の消しゴムを用いてゴムはんこを作る。 はんこのデザインは押印した際、模様が上下左右につながるように考える。 ② 出来上がったはんこを黒い画用紙につなげて押す。 ③ オノマトペのタイトルをつける。	a: 消しゴムはんこの彫り方を理解し、丁寧に彫り出すことで模様が美しくつながるように仕上げている。 b:はんこを押す際、混色や重ね押し、ブロック分けなど工夫を凝らして美しい模様を表現している。 c: 模様がつながる仕組みを理解し、その限られた条件の中で比較検討しながら積極的に美しいデザインを考えようとしている。	消しゴムはんこの彫り	作品	アイデアスケッチ
3学期	【彫刻】	木のカトラリーを作る ① 『もしも○○がスプーンになったら』の○○に各自で言葉を入れ、スプーンのデザインを考える。 ② 木を切り出し小刀や彫刻刀で削ってスプーンを作る。	a:切り出し小刀や彫刻刀の使い方と木材の性質について理解し、けがをせず正しい方法で木を削り出そうとしている。 b:生活や社会を心豊かにするデザインと、その目的や機能、用途を考えて主題を生成し、想像力豊かに構想を練っている。 c:使い慣れない道具を用いて粘り強く彫刻し、細部まで丁寧に仕上げて美しく使いやすいスプーンを作り出そうとしている。	授業観察	アイデアスケッチ	作品 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度